



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月6日
東

上場会社名 note株式会社 上場取引所
コード番号 5243 URL <https://note.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 加藤 貞顕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鹿島 幸裕 (TEL) 050(1751)2329
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績(2025年12月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第3四半期	4,058	33.2	923	452.0	849	567.0	858	513.6	994	368.1
2025年11月期第3四半期	3,046	23.8	167	199.3	127	271.3	139	179.2	212	344.2

(注) 包括利益 2026年11月期第3四半期 892百万円(100.1%) 2025年11月期第3四半期 446百万円(832.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	52.76	51.15
2025年11月期第3四半期	13.02	12.49

(注) 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+株式報酬費用+その他一時費用

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第3四半期	11,455	8,166	70.6
2025年11月期	6,145	2,878	45.9

(参考) 自己資本 2026年11月期第3四半期 8,085百万円 2025年11月期 2,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年11月期	—	0.00	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の連結業績予想(2025年12月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,650	36.4	1,220	287.5	1,100	329.4	1,130	330.2	1,200	172.3

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+株式報酬費用+その他一時費用

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年11月期 3 Q	19,417,500株	2025年11月期	16,748,700株
② 期末自己株式数	2026年11月期 3 Q	156株	2025年11月期	123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年11月期 3 Q	18,858,153株	2025年11月期 3 Q	16,327,024株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2026年10月6日（火）に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策や地政学リスクの影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復しております。一方で、物価上昇の長期化や金融資本市場の変動等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開するコンテンツ市場においては、個人の情報発信の活発化や推し活をはじめとするファンコミュニティの拡大によりクリエイターエコノミーが一層拡大しているほか、日本発IPのグローバル展開が加速するとともに、政府がコンテンツ産業を基幹産業として振興するなど、市場全体として拡大基調が続いております。また、生成AIの普及によって創作活動の裾野が広がる一方、スパムコンテンツの増加や著作権に関する課題も指摘されており、プラットフォームとしての信頼性や安全性の確保がより一層重要になっております。

このような事業環境のもと、当社グループは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに掲げ、クリエイターがユーザーとコミュニケーションをとりながらデジタルコンテンツを創作・公開・販売できるプラットフォーム「note」を中心としたメディアプラットフォーム事業を展開しております。また、優れた原作を生み出しグローバル展開を推進するIP・コンテンツクリエイション事業、AIの活用によりコンテンツの創作・流通を革新するAI関連事業を展開しており、AI時代のコンテンツ流通のインフラとなることを目指しております。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,058,063千円（前年同期比33.2%増）となりました。また、営業利益は849,123千円（前年同期比567.0%増）、経常利益は858,993千円（前年同期比513.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は994,973千円（前年同期比368.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「メディアプラットフォーム事業」、「IP・コンテンツクリエイション事業」の2事業に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「AI関連事業」を開始したことに伴い、事業セグメントの区分を見直し、「メディアプラットフォーム事業」、「IP・コンテンツクリエイション事業」及び「AI関連事業」の3事業に区分を変更しております。

(メディアプラットフォーム事業)

メディアプラットフォーム事業では、CtoCメディアプラットフォーム「note」の運営、法人向け情報発信メディアSaaS「note pro」の運営、「note」上での企業協賛型コンテストの実施等を中心とした法人向けサービスに取り組んでおります。

「note」については、継続的な機能改善によってプラットフォームに集まるユーザー・コンテンツが順調に増加しており、2026年8月末時点で累計会員登録者数は1,313万人、公開コンテンツ数は8,993万件となりました。当第3四半期連結会計期間における流通総額は6,553百万円（前年同期比18.3%増）となり、引き続き高水準で推移しています。「note pro」については、機能の拡充や営業活動の強化、「note」のサービス成長に伴う企業からの認知度向上により引き続き利用企業が増加しており、2026年8月末時点でARR^{(注)1}は839百万円（前年同期比29.5%増）となりました。法人向けサービス事業については、「note」のユーザー数増加などにより、「noteコンテスト」案件が堅調に推移しております。

この結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は3,743,134千円（前年同期比24.9%増）となりました。内訳は、note売上高2,968,217千円（前年同期比21.8%増）、note pro売上高626,409千円（前年同期比32.1%増）、法人向けサービス売上高115,260千円（前年同期比77.5%増）、その他売上高33,247千円（前年同期比60.3%増）です。また、セグメント利益は886,912千円（前年同期比420.5%増）となりました。

(注) 1. ARR=Annual Recurring Revenueは、各四半期末月のMRR^{(注)2}を12倍したものの。

2. MRR=Monthly Recurring Revenueは、月次経常収益。MRRには、note proの基本料金に加え、一部オプション料金も含む。

(IP・コンテンツクリエイション事業)

IP・コンテンツクリエイション事業では、クリエイターの企画や作品のエージェント、コンテンツ制作・販売、外部企業からの企画・コンテンツ制作受託などに取り組んでおります。2024年5月に設立したTales & Co. 株式会社を中心となり、原作開発やクリエイターとの連携体制の強化を通じ、取扱作品の拡充とその展開に注力してお

ります。

この結果、IP・コンテンツクリエイション事業の売上高は71,337千円（前年同期比28.6%増）、セグメント損失は24,658千円（前年同期は8,711千円のセグメント損失）となりました。

（AI関連事業）

AI関連事業では、AI時代における公正なコンテンツ流通と、作り手に対価が還元される新しいエコシステムの実現などに取り組んでおります。具体的には、経済産業省及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する生成AI開発プロジェクト「GENIAC」に採択された事業の推進に注力しております。

この結果、AI関連事業の売上高は250,727千円、セグメント利益は27,999千円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して5,309,834千円増加し、11,455,091千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して5,242,982千円増加し、10,342,658千円となりました。これは主に、現金及び預金が4,850,444千円増加、未収入金が328,088千円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して66,852千円増加し、1,112,433千円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が153,252千円増加した一方、投資有価証券が116,070千円減少したこと等によるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して21,516千円増加し、3,288,124千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して634,019千円増加し、3,288,108千円となりました。これは主に、預り金が256,599千円増加、流動負債のその他に含まれる契約負債が240,493千円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して612,503千円減少し、15千円となりました。これは主に、長期借入金が612,500千円減少したこと等によるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、5,288,318千円増加し、8,166,967千円となりました。これは主に、資本剰余金が4,422,723千円増加、利益剰余金が994,973千円増加、その他有価証券評価差額金が101,996千円減少したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月期の連結業績予想につきましては、2026年7月7日に第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを踏まえて上方修正を公表しております。当第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、当該修正後の通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,045,873	7,896,318
売掛金及び契約資産	268,210	300,881
商品及び製品	1,555	1,809
仕掛品	835	1,902
未収入金	1,632,431	1,960,519
その他	150,770	181,227
流動資産合計	5,099,676	10,342,658
固定資産		
有形固定資産	3,468	3,657
無形固定資産	—	12,822
投資その他の資産		
投資有価証券	768,980	652,910
その他	273,132	443,044
投資その他の資産合計	1,042,112	1,095,954
固定資産合計	1,045,580	1,112,433
資産合計	6,145,256	11,455,091
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,103	8,646
1年内返済予定の長期借入金	70,000	—
未払法人税等	2,560	3,112
預り金	2,087,363	2,343,963
その他	489,061	932,385
流動負債合計	2,654,088	3,288,108
固定負債		
長期借入金	612,500	—
その他	19	15
固定負債合計	612,519	15
負債合計	3,266,607	3,288,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,874	32,928
資本剰余金	2,278,207	6,700,930
利益剰余金	431,797	1,426,771
自己株式	△69	△154
株主資本合計	2,794,809	8,160,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,836	△75,160
その他の包括利益累計額合計	26,836	△75,160
新株予約権	57,002	81,651
純資産合計	2,878,649	8,166,967
負債純資産合計	6,145,256	11,455,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
売上高	3,046,595	4,058,063
売上原価	190,825	447,628
売上総利益	2,855,769	3,610,435
販売費及び一般管理費	2,728,458	2,761,311
営業利益	127,310	849,123
営業外収益		
受取利息	2,725	28,454
違約金収入	9,471	13,586
その他	6,705	2,137
営業外収益合計	18,903	44,178
営業外費用		
支払利息	3,044	7,290
株式交付費	3,171	21,051
その他	—	5,966
営業外費用合計	6,215	34,308
経常利益	139,998	858,993
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	139,998	858,993
法人税、住民税及び事業税	2,216	3,202
法人税等調整額	△74,793	△139,183
法人税等合計	△72,577	△135,980
四半期純利益	212,575	994,973
親会社株主に帰属する四半期純利益	212,575	994,973

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益	212,575	994,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	233,713	△101,996
その他の包括利益合計	233,713	△101,996
四半期包括利益	446,288	892,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,288	892,976

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月1日付で、NAVER Corporationから第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ999,935千円増加しております。

また、2026年4月9日付で、株式会社KADOKAWAから第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,106,000千円増加しております。

さらに、2026年2月28日開催の第14期定時株主総会決議により、2026年4月10日付で、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金を2,237,335千円減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えております。

加えて、ストック・オプションの行使による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ79,453千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が32,928千円、資本剰余金が6,700,930千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	5,132千円	1,481千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	メディア プラット フォーム 事業	IP・コンテンツ クリエーション 事業	AI関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,996,379	50,215	—	3,046,595	—	3,046,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,250	—	5,250	△5,250	—
計	2,996,379	55,465	—	3,051,845	△5,250	3,046,595
セグメント利益又は 損失(△)	170,391	△8,711	—	161,679	△34,369	127,310

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額には、報告セグメントに配分していない全社費用34,369千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	メディア プラット フォーム 事業	IP・コンテンツ クリエーション 事業	AI関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,743,134	64,201	250,727	4,058,063	—	4,058,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,135	—	7,135	△7,135	—
計	3,743,134	71,337	250,727	4,065,199	△7,135	4,058,063
セグメント利益又は 損失(△)	886,912	△24,658	27,999	890,252	△41,129	849,123

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額には、報告セグメントに配分していない全社費用41,129千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「メディアプラットフォーム事業」、「IP・コンテンツクリエーション事業」の2事業に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「AI関連事業」を開始したことに伴い、事業セグメントの区分を見直し、「メディアプラットフォーム事業」、「IP・コンテンツクリエーション事業」及び「AI関連事業」の3事業に区分を変更しております。